

SEAラウンドトーク

アーティストは今、ソーシャリー・エンゲイジド・アートをいかに捉えているのか？
一線で活躍するアーティストによるトーク&ディスカッション・シリーズ

Vol.10

「辺境＝課題先進地域」に求められるアートとは？

ゲスト | 岩井成昭

2018年7月20日[金] 18:30-20:30

Socially Engaged Art - Artists Talks & Discussions Series

首都圏に暮らす人々には馴染みがないかもしれない。しかし、「辺境」においては、「課題先進地域」「消滅可能性都市」「限界集落」等々、行政はさまざまなレッテルを地方の街に貼りつけます。その地に暮らす人々がどのような感情を抱こうがお構いなしです。岩井氏が暮らす秋田県は人口減少、少子高齢化、産業構造の硬直化など、社会課題の宝庫であり、日本における社会課題地域の「トップランナー」であることは数々の

データが証明しています。そのような辺境における人々の健全な将来に寄与するための処方箋は、宗教やイデオロギーによらない意識の変革であり、それが可能と見なされている唯一の選択肢「アート」に委ねられていると言っても過言ではありません。「地方再生」を目的にするのではなく、在りのままを知ることによって結果的に地域貢献を促す「アート」は可能なのか？その試案を語ります。



プロフィール

岩井成昭 Shigeaki Iwai

1990年代から都市の多文化化をテーマに複合的なメディアによる視覚表現を展開。2000年代から、アジアパシフィック・トリエンナーレ、ハバナ・ビエンナーレ、横浜トリエンナーレ等、国内外の国際展に多数参加。地域の環境やコミュニティの調査をもとに、インスタレーション・映像・音響・テキスト・キュレーションなどを複合的に取入れた視覚表現を展開している。2010年から「イミグレーションミュージアム・東京・パイロットプロジェクト」を始動させたほか、近年は、人口減少や移民受入におけるアートの役割について考察。また「辺境芸術」を標榜して、秋田県全域でアート・プロジェクトを実践している。

お申込み&お問合せ

www.art-society.com

ウェブサイト上に公開する申込フォームよりお申し込みください。

定員 | 20名 (先着順)

料金 | 800円 (コーヒー/資料代込)

※ いただいた個人情報は、適切に責任を持って管理いたします。

主催 |  ART & SOCIETY
RESEARCH CENTER

NPO法人アート&ソサイエティ研究センター
110-0005 東京都台東区上野 3-13-9 原田ビル 201

会場

アーツ千代田 3331
地下1階 マルチスペース(B105)
東京都千代田区外神田6丁目11-14

東京メトロ銀座線末広町駅 4番出口より徒歩1分
東京メトロ千代田線湯島駅 6番出口より徒歩3分
都営大江戸線上野御徒町駅 A1番出口より徒歩6分
JR御徒町駅南口より徒歩7分
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分
JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩15分

